



平成28年度
環境活動レポート

(期間:平成 28 年3月1日～平成 29 年2月28 日)

平成 29 年6月1日

 株式会社 トキワ



| | |
|-------------------------|------------|
| 第一章 環境理念・環境方針 |3 |
| 第二章 組織の概要 |4～5 |
| 第三章 エコアクション21組織図及び担当者役割 |6 |
| 第四章 環境目標及び活動実施結果 |7～12 |
| 第五章 平成29年度環境目標及び環境活動計画 |13～14 |
| 第六章 環境関連法規等の取りまとめ |15 |
| 第七章 外部からの苦情等の受付結果 |15 |
| 第八章 代表者の見直し |16 |



第一章 環境理念・環境方針

環境理念

株式会社トキワの社名は「あざやかな緑を保つ^{トキワギ}常盤木、いつもみずみずしく
栄えてありたい」の願いの下、命名したものです。

その理念に沿い、我々はゴム・プラスチックを素材とする製品群の販売活動
の中で「地球環境を守る」をスローガンに、全社員が環境保全活動に取り組
み社会的責任を果します。

環境方針

1. 環境関連法規を遵守します。
2. 当社の事業活動に伴う 資源・エネルギーの効率的活用削減に取り組みます。
 - ① 省エネルギーのためガソリン・軽油・電気使用量を削減します。
 - ② 省資源活動のため紙の使用量を削減します。
 - ③ 廃棄物削減のため、リサイクルに積極的に取り組み環境汚染の予防に努めます。
 - ④ 水の節水に努めます。
 - ⑤ エコ商品の販売、グリーン調達の推進に努めます。
3. 全社員に環境教育、周知を推進すると共に環境保全活動に参加し貢献します。
4. 当社の環境方針は社外に公開します。

平成22年4月12日改定

 株式会社 トキワ

代表取締役 中山 貞 憲



第二章 組織の概要

事業所名 株式会社 トキワ
代表者氏名 代表取締役社長 中山 貞 憲
資 本 金 8, 0 0 0 万円
創 業 大正 1 0 年 4 月 1 0 日
設 立 昭和 2 3 年 1 0 月 2 日

本社所在地 〒812-0016

福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番30号

TEL 092-451-0121 (代表)

FAX 092-473-9097

H P <http://www.tokiwa-net.com>

環境管理責任者 代表取締役 中山 貞 憲
環境管理者 総務部 北 原 一 範

事業内容 ゴム・プラスチック製品及び産業機械、機械工具の卸売業

弊社は、創業大正10年より九州管内をテリトリーとして、ゴム製品・プラスチック製品を小売店様及び生産工場などのユーザー様に、お客様との信頼関係を第一に考え販売活動を行っています。

製品概要

各種工業用ゴム及び樹脂ホース・各種工業用樹脂素材及び加工
産業用、土建用シート及びフィルム、マット・ゴム板及び各種パッキン
土木資材・各種伝動用、搬送用ベルト・各種靴、合羽、手袋
産業機械・機械工具

事業の規模 (事業年度 : 3月～翌年2月)

| | 単位 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 百万円 | 3, 9 3 8 | 3, 8 0 2 | 4, 1 0 6 |
| 従業員数 | 人 | 6 9 名 | 7 0 名 | 7 0 名 |
| 床面積 | m ² | 4 7 8 1. 5 0 | 4 7 8 1. 5 0 | 4 7 8 1. 5 0 |



事業所

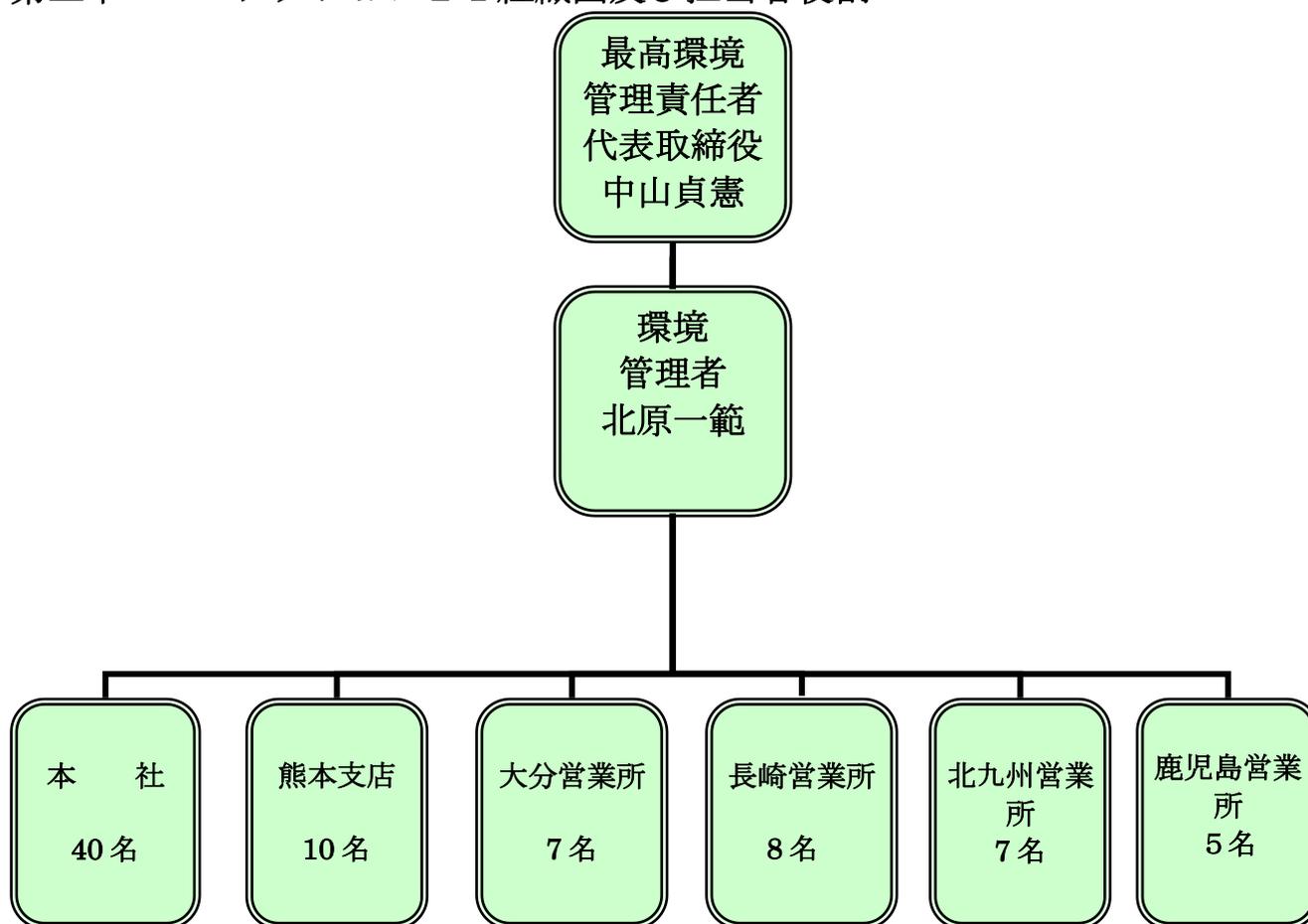
| | |
|---------|--|
| 本社及び営業課 | 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目4番30号 TEL : 092-451-0121 FAX : 092-473-9097 床面積 : 事務棟 (1F~3F) 1,1146 m ² 倉庫棟 (1F~4F) 768 m ² 合計 1,914.0 m ² 従業員 : 40名 |
| 熊本支店 | 〒861-4106 熊本県熊本市南区南高江3丁目2番21号 TEL : 096-311-3120 床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 1,115.5 m ² 従業員 : 10名 |
| 大分営業所 | 〒870-0912 大分県大分市原新町15番14号 TEL : 097-558-2323 床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 475.0 m ² 従業員 : 7名 |
| 長崎営業所 | 〒856-0028 長崎県大村市坂口町539-4 TEL : 0957-52-3380 床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 413.3 m ² 従業員 : 8名 |
| 北九州営業所 | 〒802-0976 福岡県北九州市小倉南区南方5丁目21番1号 TEL : 093-964-0062 床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 512.5 m ² 従業員 : 7名 |
| 鹿児島営業所 | 〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目3-60 TEL : 099-210-8857 床面積 : 事務所倉庫 (1F~2F) 合計 351.20 m ² 従業員 : 5名 |

平成29年6月1日付け

認証・登録範囲 : 本社・熊本支店・大分営業所・長崎営業所・北九州営業所・鹿児島営業所



第三章 エコアクション 2.1 組織図及び担当者役割



平成 29 年 6 月現在

職責別担当者の業務内容

| | 担当者 | 担当者 | 実行内容 | 人数 |
|---|-----------|--------|--|----|
| 1 | 最高環境管理責任者 | 代表取締役 | 環境方針の作成 取組の為、人・物・金について資源を準備する 環境目標の決定・環境目標達成状況の確認及び修正 環境活動レポートの承認 代表者による全体の評価と見直し | 1 |
| 2 | 環境管理者 | 総務部次長 | 環境目標の策定・環境目標達成状況の確認及び修正 環境活動計画の決定及び実施状況の確認・環境活動教育 環境活動レポートの作成及び最高責任者への提出 環境教育の策定・外部からの苦情及び緊急事態の発生時の 部会長への指示・法令順守指導 | 1 |
| 3 | 部会長 | 各事業所長 | 部門別環境活動計画及び目標の策定・四半期環境活動計 画の評価及び承認・環境教育の実施・外部からの苦情及 び緊急事態の発生について対応、受付及び連絡票の作成 | 6 |
| 4 | 各責任者 | 事業部責任者 | 環境活動計画の実施及び各員への指示・反省 部会長への報告 | — |
| 5 | 社員 | 事業部門員 | 環境活動の実施 | — |



第四章 環境目標及び活動実施結果

① 平成26年～平成28年環境目標

環境目標

| 環境目標 (目標設定基準) | | 単位 | 平成26年度 (H26.3.1～ H27.2.28) | 平成27年度 (H27.3.1～ H28.2.29) | 平成28年度 (H28.3.1～ H29.2.28) |
|------------------|--|--------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 二酸化炭素排出量の削減 基準値 (H25実績) 306,699 kg-CO2 | kg-CO2 | 303,630 以下 (98.9%以下) | 300,560 以下 (98.0%以下) | 297,490 以下 (97.0%以下) |
| 2 | 廃棄物排出量の削減 基準値 (H25実績) 20,210 kg | kg | 20,000 以下 (99%以下) | 19,780 以下 (98%以下) | 19,560 以下 (97%以下) |
| 3 | 節水活動の推進 基準値 (H25実績) 883 立米 | 立米 | 872 以下 (98.8%以下) | 860 以下 (97.7%以下) | 850 以下 (96.7%以下) |
| 4 | エコ商品の販売 基準値 (H25実績) 57,598 千円 | 千円 | 60,000 千円 (4.2%アップ) | 63,000 千円 (9.4%アップ) | 66,200 千円 (14.6%アップ) |
| 5 | 事務用品のグリーン購入 基準値 (H25実績) 47.74% | % | 49%以上 | 50%以上 | 51%以上 |

注

平成27年度に二酸化炭素排出係数に関しては、平成25年度九州電力二酸化炭素排出係数 0.613kg-CO₂/kWh を使用して基準値の平成25年度実績を排出係数 0.385 ⇒ 0.613 に変更して再作成した目標となっている。

② 事業所別平成28年度環境目標 (期間：平成28年3月1日～翌2月28日)

| 事業所/ 単位 平成28年度 | 二酸化炭素排出量削減 | 廃棄物排出量削減 | 節水活動の推進 | エコ商品の販売 | 事務用品のグリーン購入 |
|----------------------|------------|-----------|---------|-----------|-------------|
| | kg-CO2 | kg | 立米 | 千円 | % |
| 本 社 | 131,200 以下 | 11,490 以下 | 467 以下 | 33,000 以上 | 55%以上 |
| 熊本支店 | 43,650 以下 | 2,340 以下 | 155 以下 | 8,820 以上 | 30%以上 |
| 大分営業所 | 35,010 以下 | 1,620 以下 | 88 以下 | 7,720 以上 | 22%以上 |
| 長崎営業所 | 32,040 以下 | 2,480 以下 | 46 以下 | 9,380 以上 | 64%以上 |
| 北九州営業所 | 37,250 以下 | 960 以下 | 42 以下 | 2,200 以上 | 59%以上 |
| 鹿児島営業所 | 18,340 以下 | 670 以下 | 52 以下 | 5,080 以上 | 58%以上 |
| 全 社 計 | 297,490 以下 | 19,560 以下 | 850 以下 | 66,200 以上 | 51%以上 |



③平成 28 年度期間活動計画、取組み及び結果

3-1 (二酸化炭素排出量の削減及び節水活動の推進)

| 平成 28 年度 期間： 3 月～翌 2 月 | 1、二酸化炭素排出量の削減 | | | 2、節水活動の推進 | | |
|------------------------------|---------------|---------|----|-----------|-----|----|
| | kg-CO2 | | | 立米 | | |
| | 目 標 | 実 績 | 判定 | 目 標 | 実 績 | 判定 |
| 本 社 | 131,200 | 123,064 | ○ | 467 | 313 | ○ |
| 熊本支店 | 43,650 | 43,586 | ○ | 155 | 147 | ○ |
| 大分営業所 | 35,010 | 33,878 | ○ | 88 | 48 | ○ |
| 長崎営業所 | 32,040 | 29,883 | ○ | 46 | 56 | × |
| 北九州営業所 | 37,250 | 37,134 | ○ | 42 | 24 | ○ |
| 鹿児島営業所 | 18,340 | 18,677 | × | 52 | 69 | × |
| 全 社 計 | 297,490 | 286,222 | ○ | 850 | 657 | ○ |

1. 二酸化炭素排出量の削減

平成 28 年度の温室効果ガスの達成状況については、全体で対目標約 4%の削減が出来ました。

事業所別では、本社 6.2% 熊本支店 0.2% 大分営業所 3.3% 長崎営業所 6.8% 北九州営業所 0.3% の削減が出来ました。

鹿児島営業所については、1.8% (二酸化炭素排出量で 337kg-CO2) のオーバーとなっています。理由といたしましては、当営業所は平成 27 年度より人員が 1 名多くなっていることともに、売上増及び営業活動の広範囲化によるものである。

各員の意識が浸透している等、エコアクション 21 の活動がしっかり取り組まれていることが確認できた。

2. 節水活動の推進

節水についても、対目標 22.7%の削減ができました。

達成事業所は、本社、熊本、大分、北九州 各支店営業所で、鹿児島営業所では人員増 (1 名) の為対目標 32.69%と増加となりました。



エネルギー別成績

| エネルギーの種類 | 単位 | 平成 28 年度目標 | 平成 28 年度実績 | 増減率 |
|----------|--------|------------|------------|----------|
| 電 力 | kg-CO2 | 92,646 | 90,964 | 1.8% 削減 |
| 都市ガス | kg-CO2 | 6,945 | 6,475 | 6.8% 削減 |
| LPG ガス | kg-CO2 | 87 | 57 | 34.4% 削減 |
| ガソリン | kg-CO2 | 197,760 | 188,452 | 4.7% 削減 |

エネルギー別成績については、前項目にて削減できました。

内容については、3カ年計画の最終年ですが、平成 27 年度より週休 2 日制となったことが大きな要因となっていますが、社内プロジェクトの定期開催、全社にて FAX の集約によるモニターの増設等により割増部分が大きくありますが、その反対に紙使用量の大幅な減少等環境面に大きく貢献できています。

3-2 (廃棄物排出量の削減)

| 平成 28 年度 期間： 3 月～翌 2 月 | 3、廃棄物排出量の削減 | | |
|------------------------------|-------------|--------|----|
| | kg | | |
| | 目 標 | 実 績 | 判定 |
| 本 社 | 11,490 | 7,458 | ○ |
| 熊本支店 | 2,340 | 2,190 | ○ |
| 大分営業所 | 1,620 | 418 | ○ |
| 長崎営業所 | 2,480 | 3,935 | × |
| 北九州営業所 | 960 | 827 | ○ |
| 鹿児島営業所 | 670 | 466 | ○ |
| 全 社 計 | 19,560 | 15,294 | ○ |

廃棄物排出量の削減結果

本年度は、対目標 21.9%と大きく廃棄物の削減が出来た。

削減の大きなところでは、本社にて 第三四半期及び第四四半期に廃棄物の分別をしっかりと行い、有価物排出を行ったことが削減の最大の要因と考える。

責任者は、手間になりますがしっかりと業務を行っていることが評価できます。

長崎営業所については、商品の入荷増大にてダンボールの増加が原因で、事業所自体が出荷が少ないため、再利用が無く廃棄に回ったことが成績になった。

その為、分別廃棄に力をいれて、平成 28 年度後半から有価物としての廃棄を行なっている。



3-3 (エコ商品PR・販売活動実績)

目標 : エコ商品の販売 年間 66,200 千円

単位 : 千円

| | 本社営業課 | 熊本支店 | 大分営業所 | 長崎営業所 | 北九州営業所 | 鹿児島営業所 | 合計 |
|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 33,000 | 8,820 | 7,720 | 9,380 | 2,200 | 5,080 | 66,200 |
| 実績 | 10,567 | 10,909 | 6,164 | 49,798 | 1,269 | 3,960 | 82,667 |
| 対目標達成率 | 32.0% | 123.7% | 79.8% | 530.9% | 42.3% | 78.0% | 124.9% |

エコ商品の販売実績結果

期間のエコ商品の販売については、長崎営業所の成績が大きく寄与して対目標 24.87%の販売実績を伸ばした。

3-4 (グリーン購入成績表)

| | 本社 | 熊本支店 | 大分営業所 | 長崎営業所 | 北九州営業所 | 鹿児島営業所 | 全社 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| グリーン購入率目標 | 55%以上 | 30%以上 | 22%以上 | 64%以上 | 59%以上 | 58%以上 | 51%以上 |
| グリーン購入率 | 36.9% | 21.9% | 52.0% | 46.5% | 74.9% | 51.6% | 39.9% |
| 判定 | × | × | ○ | × | ○ | × | × |

グリーン購入に関しては、事務用品をたのめーるにて購入した分にて表示。

グリーン購入成績結果

年間を通して、グリーン購入成績は達成できませんでした。

平成 28 年より、FAX の一括受信及びデジタル化が進み紙の購入量が減ることによるグリーン購入率減少が達成できなかった最大の原因である。しかしながら、紙資源の購入量減少による環境にやさしい取り組みが大幅に進行することとなった。

(紙購入については、全社グリーン購入をしていたため)

3-5 (エアコン・店舗用パッケージエアコン簡易点検結果)

平成 28 年 3 月 平成 29 年 2 月 の点検にて

| | 本社 | 熊本支店 | 大分営業所 | 長崎営業所 | 北九州営業所 | 鹿児島営業所 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 点検結果 | 特に問題なし | 特に問題なし | 特に問題なし | 特に問題なし | 特に問題なし | 特に問題なし |

特に問題は発生していない。



④環境負荷の削減についての活動結果

| 取組 | 取組目標 | 事業所 | 活動項目 | | 判定 |
|-------------|------------|-----|------|---------------------------|----|
| 二酸化炭素排出量の削減 | 電気使用量の削減 | 全社 | 1 | 事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切 | ◎ |
| | | 全社 | 2 | 業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切 | ◎ |
| | | 全社 | 3 | 電気冷房及び暖房の温度設定を取り決めに沿って行う。 | ◎ |
| | | | | | |
| | ガソリン・軽油の削減 | 全社 | 1 | エコ運転の徹底 | ○ |
| | | | | | |
| 水資源の削減 | 水使用量の削減 | 全社 | 1 | 水使用時の節水活動 | ◎ |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 環境負荷の削減 | エコ商品のPR | 全社 | 1 | エコ商品の販売 | ◎ |
| | | | | | |
| | グリーン調達 | 全社 | 2 | 事務用品をたのめーるにて購入グリーン調達比率アップ | △ |

| 取組 | 取組目標 | 事業所 | 活動項目 | | 判定 |
|--------|--------|-----|------|-------------|----|
| 廃棄物の削減 | 廃棄物の削減 | 全社 | 1 | 廃棄物の分別廃棄の徹底 | ◎ |
| | | | 2 | ダンボールの再利用 | ○ |

| 取組 | 取組目標 | 事業所 | 活動項目 | | 判定 |
|--------|---------|-----|------|------------|----|
| エアコン点検 | 室内外機の点検 | 全社 | 1 | 室内機・室外機の点検 | ◎ |
| | | | | | |



「活動評価について」

(二酸化炭素排出量の削減)

- 1.電力に関しては、エアコンの吹き出し口の調整や部分的に送風機の設置等により、責任者が考えた取り組みを行っていること評価できます。
又、本社商品管理課については、昼休み、及び休憩中の節電がしっかり行われていることが確認できた。
応接室・会議室の電灯・エアコンについても都度消灯・エアコン切が行なわれており、全員の意識が根付いていることが伺える。
パソコンについても、就業時間以外の「電源切」を代表者が通達を行い、現在しっかり行われていることが確認できた。

(廃棄物排出量の削減)

- 1.本社・長崎営業所にて行った、有価物の排出を契約したため、排出量自体の数量が少なくなった。
今後、他事業所においても確認を行いたい。

(節水活動の推進)

- 1.水使用量については、責任者及び社員全員意識が根付いているので、取組については特に問題ありません。

(エコ商品のPR)

- 1.エンゾアリング事業課の担当が省エネ商品の販売を、各営業員と行なっており今後も売り上げ増が見込める。
尚、平成28年度の成績は、長崎営業所の特定ユーザへの販売が大きく寄与している。

(グリーン調達の実施)

- 1.事務用品の購入について、FAXをデジタル化したために紙の購入量が大きく減少している成績不調を、各担当者が意識しており、少しでもエコ商品を購入できるように、成績コメント及び発言が、この活動がしっかり浸透していると確信できた。

(エアコンの簡易点検)

- 1.平成28年度より、年間4回のチェックを行なっているが、特に問題及び機器の不調等の報告は受けていない。



①平成29年度環境目標

環 境 目 標 (平成29～31年度)

| 環境目標 (目標設定基準) | | 単位 | 平成29年度 (H29.3.1～ H30.2.28) | 平成30年度 (H30.3.1～ H31.2.28) | 平成31年度 (H31.3.1～ H32.2.29) |
|------------------|--------------------------------------|----------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1 | 二酸化炭素排出量の削減 (基準値 286,222 kg-CO2) | kg-CO2 | 283,310kg-CO2 以下 (98.9%以下) | 280,470kg-CO2 以下 (98.0%以下) | 277,670 kg-CO2 以下 (97.0%以下) |
| 2 | 廃棄物排出量の削減 (基準値 15,294kg) | kg | 15,120 kg 以下 (98.0%以下) | 14,951 kg 以下 (97.9%以下) | 14,800 kg 以下 (96.9%以下) |
| 3 | 節水活動の推進 (基準値 657 m ³) | m ³ | 648 m ³ 以下 (98.6%以下) | 633 m ³ 以下 (97.4%以下) | 618 m ³ 以下 (95.8%以下) |
| 4 | エコ商品の販売 (基準値 82,667 千円) | 千円 | 86,830 千円 (5.0%アップ) | 91,160 千円 (10.3%アップ) | 95,720 千円 (15.8%アップ) |
| 5 | 事務用品のグリーン購入 (基準値 39.86%) | % | 41%以上 | 42%以上 | 43%以上 |

排出係数を2013年九州電力CO2排出係数実績(0.613kg-CO2/kWh)にて作成。



②平成 29 年度環境活動計画

| 取組 | 取組目標 | 事業所 | 活動項目 | |
|-------------|--------------------|-----|------|---------------------------|
| 二酸化炭素排出量の削減 | 電気使用量の削減 | 全社 | 1 | 事務所及び倉庫の昼休み中の消灯及び未使用室の電源切 |
| | | 全社 | 2 | 業務未使用中のパソコン及び昼休み中の電源切 |
| | | 全社 | 3 | 電気冷房及び暖房の温度設定を取り決めに沿って行う。 |
| | | | | |
| | ガソリン・軽油の削減 | 全社 | 1 | エコ運転の徹底 |
| 水資源の削減 | 水使用量の削減 | 全社 | 1 | 水使用時の節水活動 |
| | | | | |
| 廃棄物の削減 | 廃棄物の削減 | 全社 | 1 | 廃棄物の分別廃棄の徹底 |
| | 〃 | 全社 | 2 | ダンボールの再利用 |
| | | 全社 | 3 | 有価物としての排出 |
| エコ商品の販売 | エコ商品のPR | 全社 | 1 | エコ商品の販売実績の達成 |
| | | | | |
| グリーン調達 | 事務用品のエコ商品調達の比率を上げる | 全社 | 1 | 事務用品のエコ商品調達比率を上げる |
| | | | | |
| 簡易点検 | エアコンの室内外機の点検 | 全社 | 1 | 年四回の簡易点検を行う。 |



第六章 環境関連法規等の取りまとめ

平成 29 年 6 月 1 日現在、環境関連法規を遵守し、関係機関や利害関係者の指摘、苦情、訴訟はありませんでした。

| 環境法規名称 | 届出・作業等 | 適応範囲 | 適応条件 | 遵守事項 | 主管部門 | 判定 | 確認者 |
|------------------|-------------|--------------------------|---|---|-----------------|----|-----|
| 消防法 | 消化設備法定点検 | 火災報知機・煙探知機・消火栓・消火器 | | 消防法年 2 回の点検 3 年に 1 回法定点検を 消防署への報告 | 総務課 各事業 所 | ○ | 北原 |
| | 指定可燃物の取扱 | 指定可燃物の貯蔵・取扱の基準 | | 市町村条例（火災予防 条例）にて 指定数量 5 倍以上 消 防所長に届出 | 熊本支 店 支店長 | ○ | 北原 |
| 廃棄物 処理法 | 産業廃棄物 | 廃プラスチック ゴムくず | 委託基準 委託先の許可 証の確認 | 収集運搬及び処分業者 の委託契約書の取交し 及び許可証の確認 中間処理場などの確認 | 総務課 各事業 長 | ○ | 北原 |
| | | | マニフェスト の交付 | 適合マニフェストの使用 | 総務課 各事業 長 | ○ | 北原 |
| | | | マニフェスト の管理及び保 管 | マニフェスト管理帳の 作成及び交付→回収の 確認 | 総務課 各事業 長 | ○ | 北原 |
| | | | マニフェスト 票に関する知 事への定期報 告 | 毎年 6 月 30 日までに 前年度（3 月 31 日以 前の 1 年間に交付した マニフェスト交付状況 を様式第 3 号により知 事等に提出する。 （政令指定都市の場合 読替政令にて市ゴミ対 策課に提出） | 総務課 各事業 長 | ○ | 北原 |
| | | | 契約書の取交 し | 廃棄業者との産業廃棄 物廃棄にかかわる契約 書を取り交わす | 総務課 各事業 長 | ○ | 北原 |
| フロン 排出 抑制法 | 業務用 エアコン | 業務用エアコン 室内機及び、室外 機 | 法第 5 条 法第 16 条 健在産業省・ 環境省：告示 第 13 号 | 当該特定製品に使用さ れるフロン類の管理の 適正化に努める 全ての第異種特定製品 について簡易点検を 3 か月に 1 回以上実施 | 総務課 各事業 長 | ○ | 北原 |

第七章 外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情等の受付はありませんでした。



日 時 : 平成 29 年 5 月 8 日 (月) 11 : 15~11 : 50

議 題 : ①平成 28 年度環境目標及び環境活動についての実績報告と指示及び機能性・有効性について

②平成 29 年度環境目標及び環境活動目標について

内 容 :

①平成 28 年度環境目標及び環境活動についての報告と指示及び機能性・有効性について

会議参加者に次の資料が配布され会議が進められた。

①「温室効果ガス排出量 実績集計表」及び「評価結果表」

②「廃棄物排出量 実績集計表」及び「評価結果表」

③「グリーン購入活動計画とその結果表」

④「エコ商品 PR 及び販売活動実績」

環境管理者から上記各項目の成績発表が行われ、代表者（環境責任者）より評価がなされた。グリーン購入以外の項目が目標を達成できたことは、各責任者の積極的取り組みがなされていることが見て取れる。

グリーン購入については、全社にて一番購入量が多い「コピー紙」の購入が、FAXのデジタル化によって、使用しない様になったので達成できていないが、反対に地球環境にやさしい試みであったと評価された。

又、機能性については、特に「エコ商品の販売」での実績及び活動がものがたっているが、この環境マネジメントシステムは確かに有効機能していると評価された。

②平成 29 年度環境目標について

平成 29・30・31 年の 3 カ年の環境目標については、排出係数を 2013 年九州電力 CO2 排出係数 0.613 kg-CO2/kWh を使用し、この平成 28 年度の実績を基準値として 3 年計画をたてるよう指示が出た。

 株式会社 トキワ